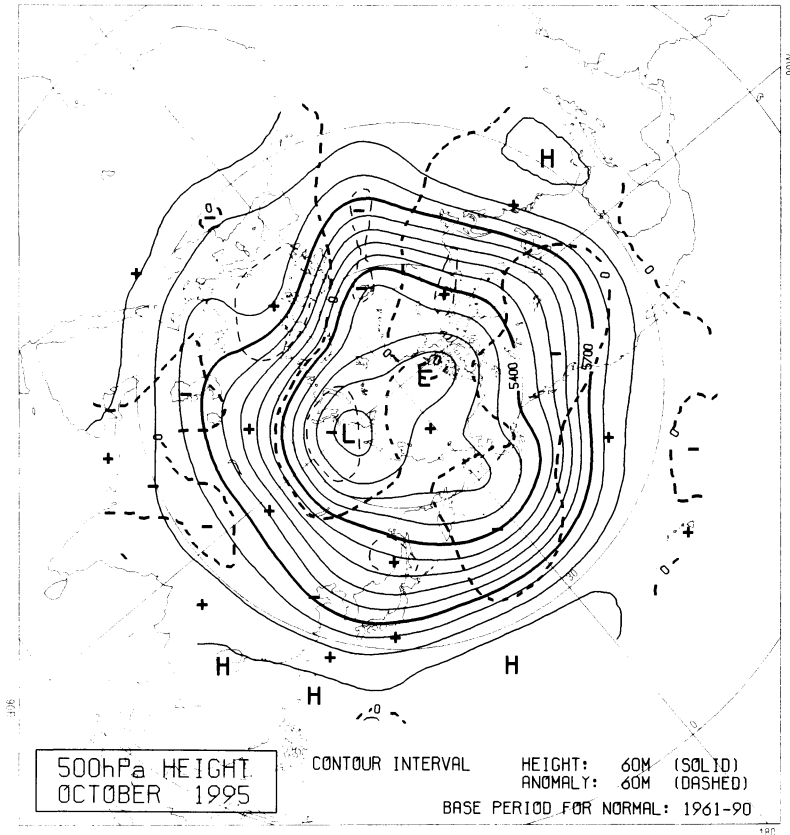


1995年10月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表 1 1995年10月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	—	—	—	—	—	—	カサブランカ	—	—	—	—	—	—
マドリード	17.4	2.6	1.6	9	20	2	バマコ	27.4	-0.4	-0.2	114	190	—
ワルシャワ	9.9	1.5	1.1	16	34	—	ブレトリア	21.1	1.1	1.0	69	94	3
イスタンブール	14.2	-1.1	-0.7	26	36	1	バンクーバー	—	—	—	—	—	—
モスクワ	6.7	1.7	0.8	19	33	—	セントルイス	16.1	1.8	0.9	51	75	3
オデッサ	11.3	0.1	0.1	4	14	1	サンフランシスコ	16.9	0.8	0.9	0	0	2
ニューデリー	26.6	0.4	0.6	1	6	2	ニューヨーク	17.3	3.2	2.0	143	186	5
カルカッタ	28.3	0.4	0.7	204	153	4	メキシコ	—	—	—	—	—	—
ボンベイ	29.1	0.4	0.6	133	240	4	アスンシオン	—	—	—	—	—	—
ホンコン	25.1	-0.1	-0.2	494	341	5	ブエノスアイレス	17.3	0.2	0.2	118	99	3
チャンチュン	8.8	1.9	1.3	26	87	3	ホノルル	28.2	1.7	2.8	9	17	1
ベキン	14.5	1.8	1.5	10	53	3	タヒチ	—	—	—	—	—	—
シャンハイ	19.2	—	—	83	—	5	ダーウィン	28.4	-0.7	-1.2	60	80	4
バンコク	—	—	—	—	—	—	キャンベラ	14.1	1.3	1.3	86	132	4
マニラ	26.7	-0.5	-0.7	—	—	—	ショウワキチ	—	—	—	—	—	—

10月の世界の天候

500 hPa 高度場では、ヨーロッパ西部、シベリア東部、北アメリカ北東部に正偏差が、ロシア北部や北太平洋から北アメリカ中部にかけて負偏差が広がった。高・低気圧の活動は、北米大陸東部で平年より活発であった。偏西風は、帯状平均で平年よりやや北偏し、ヨーロッパ付近では分流が顕著に見られた。

①東アジアの高温

東アジアではほぼ全域で平年を上回る気温となった。ハバロフスクでは月平均気温7.3°C（平年差+2.9°C）であった。

②フィリピンからインドネシアの高温

インドネシアなどアジア南部では、前月に続いて高温となった所が多かった。フィリピンでは下旬に台風の影響が相次ぎ、タイでも大規模な洪水による被害が伝えられた。

③ロシア西部からアイスランドにかけての多雨

ロシア西部からアイスランドにかけては多雨であった。

④ヨーロッパ西部の高温

ヨーロッパ西部では、平年を2°C以上上回る気温となった所が多かった。

⑤ヨーロッパの少雨

ドイツからヨーロッパ東部にかけてやスペインなどでは少雨となり、クラゲンフルト（オーストリア）では月降水量が0 mm（平年値71 mm）であった。

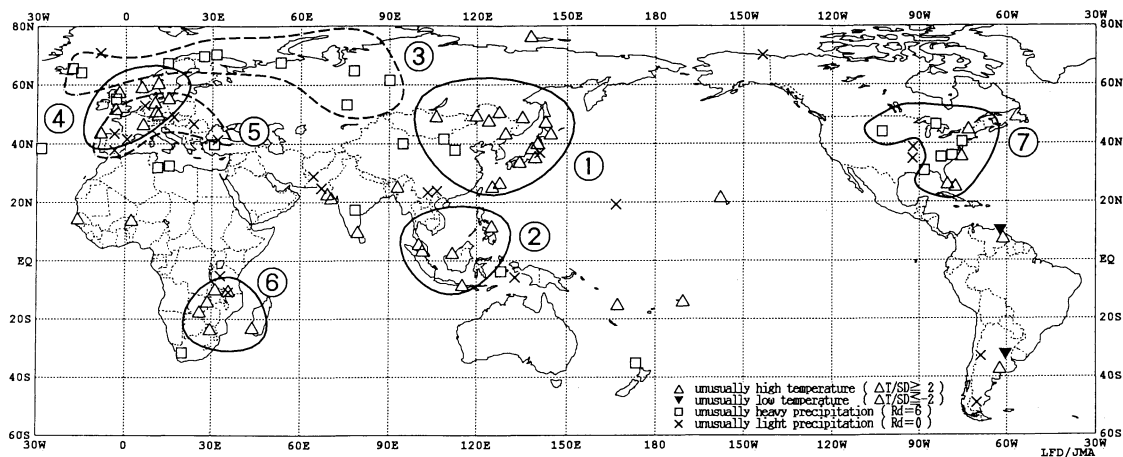
⑥アフリカ南東部の高温

アフリカ南東部で高温となり、ピーターズバーグ（南アフリカ）では月平均気温22.2°C（平年差+2.9°C）であった。また、平年では雨季にあたるサヘル域では高温少雨傾向であった。

⑦アメリカ合衆国東部の高温多雨

アメリカ合衆国東部では気温多雨となり、平年を2°C以上上回る気温となった地域もあった。ワシントンでは月降水量が220 mm（平年比288%）であった。また、カプリ海諸国でも多雨傾向となり、ハリケーンや洪水の被害が相次いで報じられた。

（気象庁予報部長期予報課 山際 龍太郎）



1995年10月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1995年10月の気候表の説明。平均値は、1961～1990年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。